

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

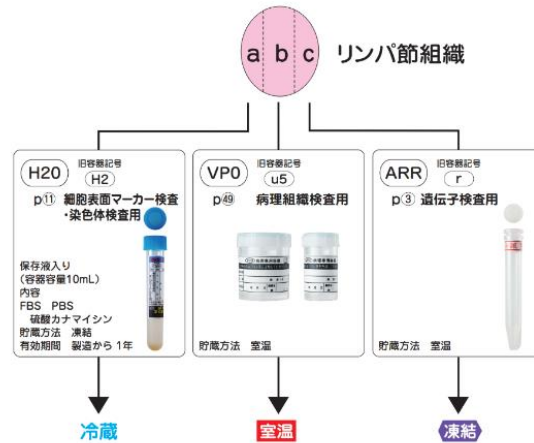
■ 受託開始日 2024年12月2日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (旧項目コード)	検査項目	検査要項/備考
OON30 4 (ON30 3)	曜日指定 悪性リンパ腫総合解析 「ML-NET」 v2	重 裏面参照 &1

●悪性リンパ腫総合解析 「ML-NET」 v2の提出方法

- 1) 検体は採取後、当日中にご提出ください。
- 2) 組織は無菌的に採取してください。
- 3) 採取した組織は3分割してください。
- 4) 分割した組織 (a) は専用容器 (H2O) に無菌的に入れ冷蔵保存してください。
- 5) 分割した組織 (b) は遺伝子検査に使用する場合があるため、10%中性緩衝ホルマリン液を充填した専用容器 (VPO) に無菌的に入れて固定し室温保存してください。
- 6) 分割した組織 (c) は滅菌ポリスピッツ (ARR) に無菌的に入れ、直ちに凍結保存してください。



今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただきます。

項目コード (旧項目コード)	項目名	最終受託日
02898 3 (2898 1)	悪性リンパ腫 総合解析検査 「ML-NET」	2024年 11月 29日 (金) ご依頼分まで



● 悪性リンパ腫総合解析 「ML-NET」 v2

リンパ腫の総合的な診断補助に有用な検査です。

悪性リンパ腫総合解析 「ML-NET」は、病理組織検査・染色体検査・細胞表面マーカー検査等により、リンパ腫の診断を総合的に補助する検査です。

「ML-NET」v2は、既存のML-NETに加え、G-band検査とFISH検査の併用、遺伝子検査、細胞表面マーカー検査の抗体アップデートが行われました。

本検査により、日々複雑化し、治療の発展も目覚ましい悪性リンパ腫の診断補助を行うことが可能となります。

▼疾患との関連

悪性リンパ腫

▼検査要項

検査項目名	曜日指定 悪性リンパ腫総合解析 「ML-NET」 v2
項目コード (旧項目コード)	OON30 4 (ON30 3)
検体量	組織 (a) 組織 (生) : 0.5g (10×10×5mm程度) 組織 (b) ホルマリン固定組織 : 0.5g (10×10×5mm程度) 組織 (c) 凍結組織 : 0.5g (10×10×5mm程度)
容器	表面参照
保存方法	表面参照
所要日数	一次解析検査：9～13日前後（症例により遅延する場合があります） 総合解析検査：1ヶ月前後（症例により遅延する場合があります）
検査実施料	下表参照
判断料	下表参照
備考	重 組織 (生)：凍結保存は避けてください。 受託可能日は、月～金曜日です。 他の項目との重複依頼は避けてください。本検査は病理組織検査、細胞表面マーカー検査、染色体G-Banding検査、FISH検査、遺伝子検査（免疫関連遺伝子再構成）を用いた総合解析検査です。 本検査で判定が困難な症例につきましては、当社から追加検査のご確認をさせていただきます。ただし、濾胞性リンパ腫（FL）と判定された場合は、追加検査としてEZH2遺伝子変異解析を実施いたします。

●実施料/判断料

	診療報酬名	保険点数	判断料区分
病理組織検査 注1	「N000」病理組織標本作製	860点	※8 病理判断料 130点
	「N002」免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製 その他1臓器につき	400点	
細胞表面マーカー検査	「D005」血液形態・機能検査 15 造血器腫瘍細胞抗原検査（一連につき）	1940点	※3 血液学的検査判断料 125点
染色体G-Banding検査	「D006-5」染色体検査 3 その他の場合	2477+397点	※2 遺伝子関連・染色体検査 判断料 100点
FISH検査 注2	「D006-5」染色体検査 FISH法を用いた場合	2477点	
遺伝子検査 注3	「D006-6」免疫遺伝子再構成	2373点	
合計		10924点 注4	

注1：病理組織検査：追加検査にて、CD30を実施した場合は400点、ALKを実施した場合は2700点、また、免疫染色4抗体以上を実施した場合は1200点加算できます。

注2：FISH検査：FISH検査を1つ実施します。DLBCLの場合、MYC・BCL2・BCL6の3項目を実施し、保険点数も2477点×3となります。

注3：FLの場合、EZH2遺伝子変異解析を追加検査として実施し、保険点数は2500点となります。

注4：その他、必要に応じて追加項目が発生する可能性があります。

●参考文献

菊池 昌弘：Medical Technology 28 (2)：114～121, 2000. (検査方法参考文献)

Ohshima K, et al：Pathol Int. 52 (1)：1～12, 2002. (臨床的意義参考文献)